

なでしこ



茨城県立内原特別支援学校
地域広報紙 第54号
平成30年7月27日発行
水戸市鯉淵町2570番地
TEL 029-259-5813



日ごろより本校の教育活動にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。
本校では、地域の小学校・中学校等の児童生徒や地域の方々との継続的な交流の中で、互いに理解と認識を深めることを目的として、地域の小学校・中学校等の児童生徒や地域の方との交流及び共同学習を行っております。通学区域内の小学校・中学校や地域の方々のお力をお借りして、活動の充実を図りたいと思っております。今年度も地域交流紙「なでしこ」を発行しますので、よろしく願いいたします。1学期は以下の活動を行いましたので、ご紹介させていただきます。

鯉淵小学校との学校間交流「なかよし集会」 6月9日

本校の小学部児童と鯉淵小学校の児童との交流で、「なかよし集会」を行いました。10班に分かれ、へびおにや椅子とりゲーム、だるまさんがころんだ等のゲームをグループごとに楽しみました。交流前は緊張した様子の児童達でしたが、優しくゲームを教えてくれた鯉淵小学校の皆さんのおかげで、安心してグループの輪に入り、楽しく交流をすることができました。ありがとうございました。



地域交流「昔のあそび」 6月26日

本校の小学部児童と内原ライオンズクラブ、近隣地区の方々との地域交流で「昔の遊び」を行いました。コマ、お手玉、輪投げ、けん玉、ぼっくり、竹馬などの昔の遊びを、地域の方々と一緒に体験しました。紙皿に絵を描いて自分だけのコマを作って遊んだり、地域の方にお手本を見せていただきながら、お手玉やけん玉に挑戦したりしました。地域の方と一緒に喜んだり、支えていただきながらぼっくりや竹馬に乗ったりするなど、和気あいあいと楽しい雰囲気の中で、交流活動を行うことができました。ありがとうございました。



うちとくワークショップ 7月10日

うちとくワークショップは、仕事に対する興味・関心を高め、中学部段階における職業観を育てること、仕事の体験を通して中学生同士の交流を深めることを目的に行っています。今年は、内原中学校、緑岡中学校、笠原中学校の中学生、本校の中学部生が参加して、自分で選んだ仕事を3つ体験しました。仕事は、縫物屋（箸袋づくり）、ケーキ屋（アイシングクッキー）、写真屋（一眼レフカメラを使った写真撮影）、名刺屋（名刺作り・名刺交換）の4つの職種でしたが、それぞれの作業体験場所では優しく教えてくださる事業所の皆さんの話をよく聞き、真剣に体験する生徒の姿が見られました。仕事をする事への期待感ももてた貴重な一日になりました。今回ご協力いただいた茨城トンボ株式会社、くれよん工房、写真工房早川、ボイス社の皆様、ご協力いただきありがとうございました。

